

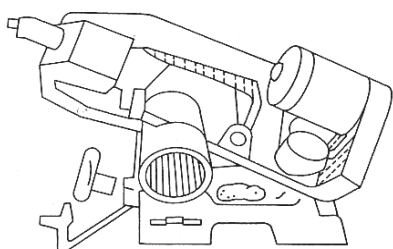
設備工事情報シート	衛生	I-P-33-改 <sub>2</sub>	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日
施工要領	ステンレス管(拡管式継手)		リケン編	

## 1. 目的・概要

住宅の給水および給湯配管に使用する一般配管用継手は、メーカーごとに使用部材および施工要領が異なっている。使用する継手およびその施工要領の認識不足による不具合を未然に防止するためには、施工前に採用する継手メーカーの配管接続方法を確認する必要がある。以下に、リケンの拡管式ステンレス管継手「サスフィット」の施工要領および施工のポイントを示す。

## 2. 施工手順およびポイント

### (1) 管の切断と面取り



バンドソー

- ①バンドソー、メタルソー、チップソーを用いて直角に切断する。

#### ⚠ 注意

ローラーカッターは使用しないこと。

管内径が縮径し、拡管できなくなる。

- ②リーマー、棒ヤスリを用いて管端部内外面のバリを除去する。

バリが残っていると、継手パッキンや拡管ゴムに傷を付け、漏水の原因となる。

### (2) 拡管作業および拡管寸法の確認



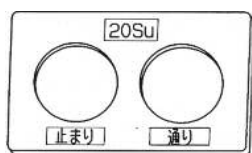
- ①拡管スイッチを押して拡管する。

機械No. S-00000の5桁の機種は、起動スイッチを1回押す。

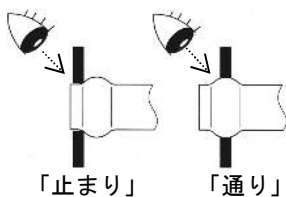
(拡管完了後、自動停止する。)

機械No. R-100~149の機種は、終了ランプが点灯するまで、拡管スイッチを押し続ける。

機械No. R-00~99の機種は、拡管ランプ点灯後、2~3秒、拡管スイッチを押し続ける。



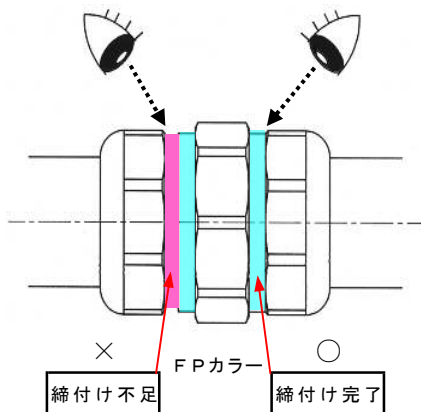
拡管ゲージ



- ②拡管機付属の拡管ゲージを用いて、拡管が正常であるか「止まり」と「通り」を確認する。

拡管が正常に行なわれていないと、漏水の原因となる。

### (3) ナットの締付け



- ①パイプレンチ等を用いて、FPカラーの赤い部分が見えなくなり、トルクが急に高くなるまで締付ける。

#### ⚠ 注意

締付け不足(FPカラーの赤色が見える状態)は漏水の原因となる。

# 資 料

## 3. 一般配管用ステンレス鋼管継手部材



ソケット



チーズ



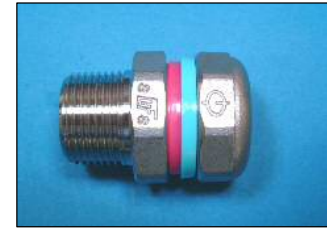
エルボ



径違いソケット



径違いチーズ



オスアダプター

## 4. 水圧検査 合否判定基準 (SHASE-S 010-2000、206-2000 抜粋)

系統名		試験水圧	
		試験圧力	最小保持時間
冷却水・冷温水		最高使用圧力の1.5倍とする。ただし最小0.75MPaとする。	30分
給水・給湯	直結	最小1.75MPaとする。ただし、水道事業者の規定のある場合は、それに従うものとする。	60分
	高置水槽以下	実際に受ける圧力の最小2倍とする。ただし最小0.75MPaとする。	60分
	揚水管	ポンプ揚程の最小2倍とする。ただし最小0.75MPaとする。	60分

## 5. 問い合わせ先

営業所	電話番号	担当者
札幌営業所	011-865-1919	川 田
仙台営業所	022-773-0825	川 田
東京営業所(本社)	03-3230-3920	黒 澤
名古屋営業所	052-201-8681	岡 谷
大阪営業所	06-4706-6768	木 村
福岡営業所	092-474-2175	田 川
配管コールセンター (工場)	フリーダイヤル 0120-212-016 携帯・PHSからは 048-527-1045	

ホームページアドレス  
<http://www.riken.co.jp/>